

無許可転載禁

これってどう?

このコーナーでは金融商品やサービスをクルー独自の視点で分析し評価していきます

第144回 新しいタイプの医療保険～重症化予防、多様な治療を長期保障

生保各社が競って開発してきた医療保険。従来の商品とは違ったコンセプトのものも登場しています。この6月にも2つの新商品が発売されました。

●給付とサービスで重症化予防

医療保険は、約款に定められた状態（入院、手術など）になったら、給付金により治療費を支援する商品。そこまで悪化する前の支援として、生活習慣病の重症化予防をコンセプトにした商品も登場しています。がんや糖尿病と診断されたら、初期段階の通院から重症化予防見舞金を支払うアクサ生命の『予防・早期治療サポート』（他の医療保険とセット加入する必要あり）などがありますが、6月にリニューアルされた SOMPO ひまわり生命の『健康のお守り』も同様のコンセプトの商品です。

この商品では、新特約「健康回復支援給付特約」の付加により、高血圧症・脂質異常症・高血糖症のいずれかの投薬治療を受けた場合、健康回復支援給付金のほか、生活習慣病サポートサービスが受けられます。このサービスは、名古屋大学医学部発のベンチャー企業（株）PREVENTが提供する、①生活習慣病相談窓口（医療専門職による電話相談で、契約者・被保険者・その2親等以内の家族が利用可）、②生活習慣病重症化予防プログラム Ship（2か月間の再発予防プログラムの提供）の2種類。いずれも無料で、重症化の予防を目的としています。

健康回復支援給付金は5万円まで1万円単位の設定が可能。受け取れるのは1回限りですが、給付金請求のタイミングで、生活習慣病重症化予防プログラム Ship の案内がなされます。Ship がスタートすると、初めに生活習慣のヒアリングやそれに基づくアドバイスの電話サポートが

あり、アプリで食事や歩数などの生活習慣を毎日記録することになります。

その記録に基づき、電話から2週間後にはチャットによるアドバイス、1か月ごとに改善方法の指導などの電話サポート（計3回、2か月間で終了）があります。アプリによるチャット相談は何度でもできます。生活習慣はなかなか変えにくいものですが、毎日の記録と専門家による定期的なアドバイスは、いいきっかけになるかもしれません。2か月経過後もサービスを受けたい場合は、有料で続けることが可能です。

保険料は、入院給付金日額5000円、健康回復支援給付特約5万円、新三大疾病支払日数無制限特則付きで契約した場合、以下のとおり（終身払い、カッコ内は健康回復支援給付金特約の保険料）。まずまずリーズナブルです。

30歳	男性	1,655円 (165円)
	女性	1,660円 (130円)
40歳	男性	2,360円 (260円)
	女性	2,040円 (200円)
50歳	男性	3,495円 (390円)
	女性	2,845円 (325円)
60歳	男性	5,125円 (505円)
	女性	4,055円 (460円)

既契約の終身医療保険に加入している場合、一部を除き中途付加もできます。

●多様な治療方法を長期的に保障

一般に、入院日数は短期化しており、健康保険の高額療養費制度の下支えもあって、短期入院による家計への負担はそれほど重くならないと考えられます。しかし、長期入院を余儀なくされる可能性はあり、そのリスクを無視することもできません。

6月にチューリッヒ生命から発売された『終身治療保険プレミアムDX』

は、多様な治療方法を長期的に保障するというコンセプトの、新しいタイプの医療保険です。新しい点とは、入院・手術・放射線治療・通院・在宅医療の5つの基本保障を月額で給付するという商品性。5万円、10万円、15万円、20万円のいずれか（年齢・年収等により異なる）の基準給付月額に、治療方法ごとの倍率（I型は入院1・手術2・入院中以外の手術0.5・放射線治療2・通院0.2・在宅医療0.2、II型は手術と放射線治療が1）をかけた金額が支払われます。ただし、同一の月に複数の治療を行った場合は、金額が最も高い給付金のみとなります。

また、入院・手術・放射線治療については個別の支払限度がなく、通算で基準給付月額の120か月分、通院・在宅医療は入院前2か月間、退院後24か月間、通算で基準給付月額の60か月分が支払限度となっています。1入院60日など、一般的な支払限度がないわけで、仮に120か月（つまり10年）の長期入院になったとしてもカバーできるわけです。

短期入院は貯蓄でカバーする、あるいはすでに入院給付金日数60日型の医療保険に入っているが、長期入院の保障は確保したいという場合、「入院免責日数特約」を付ける方法があります。免責日数は60日型と540日型の2種類。免責日数なしより保険料は安くなります。

保険料は、基本保障10万円、II型の場合、以下のとおりです（カッコ内は入院免責日数特約を付加した契約の保険料）。

30歳	男性	3,760円 (2,400円)
	女性	4,150円 (2,650円)
40歳	男性	5,050円 (3,230円)
	女性	4,760円 (3,010円)
50歳	男性	6,900円 (4,370円)
	女性	6,100円 (3,720円)
60歳	男性	9,920円 (6,150円)
	女性	8,690円 (5,080円)

(クルー 浅田里花)